

## 交付申請書記載例

P 28～ P 35

様式第1号（用紙 日本産業規格A4縦型）

小規模企業経営力向上事業交付申請書

〇〇年〇〇月〇〇日

静岡県商工会連合会会長  
（（一社）静岡県商工会議所連合会会長）

氏 名 様

所在地 〇〇市〇〇区〇〇町〇-〇-〇  
名 称 〇〇株式会社  
代表者職・氏名 代表取締役 静岡太郎

押印不要です

令和〇〇年度において小規模企業経営力向上事業を実施したいので、補助金を交付されるよう関係書類を添えて申請します。また、申請にあたっては、「小規模企業経営力向上事業費補助金の手引」を確認し、当補助金の内容を十分に理解しています。

1 事業の内容

別添の事業計画書のとおり

2 補助事業に要する経費及び補助金交付申請額

補助事業に要する経費 696,300 円

補助金交付申請額 423,362 円

3 補助事業完了予定期日 〇〇年〇〇月〇〇日

口座振替先 金融機関名 〇〇銀行

支店名 〇〇支店

口座種別 普通

口座番号 123456

口座情報は特にお間違えのないようお願いします

口座名義人（カナ） 〇〇株式会社代表取締役静岡太郎

（〇〇カブシキカイシャダイヒョウトリシマリヤクシズオカタロウ）

（注） 法人その他の団体にあつては、以下の項目についても記載すること。

責任者 職・氏名 取締役 静岡次郎

代表者と同一も可

作成者 職・氏名 主任 静岡三郎

※添付書類

法人の場合

- ・ 現在事項全部証明書（原本）又は履歴事項全部証明書（原本）
- ・ 決算書の写し（貸借対照表及び損益計算書等、売上高・利益等が確認できるもの。決算期を一度も迎えていない場合は売上計画表等、別途指定するもの。）

個人の場合

- ・ 確定申告書の写し（決算期を一度も迎えていない場合は、個人事業の開業届出書の写し。いずれも税務署へ提出したことがわかるもの。）
- ・ 所得税青色申告決算書等の写し（貸借対照表及び損益計算書等、売上高・利益等が確認できるもの。決算期を一度も迎えていない場合は売上計画表等、別途指定するもの。）

共通

- ・ 誓約書（別紙様式1）
- ・ （新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けた小規模企業として申請する場合）令和2年2月以降の任意の1か月間の売上高が、平成31年2月から令和2年1月までの期間における同月比10%以上※減少したことが確認できる書類（試算表、売上台帳等の写し、税理士・公認会計士が証明した資料等）※売上高が50%以上減少している場合、審査時に加点措置あり
- ・ （事業継続計画策定済み事業者として申請する場合）県が別に定める基準を満たす事業継続計画の写し（留意事項）採択された補助事業については、その取組内容をホームページや事例集等により公表することがあり、このことについて当申請により承諾したものとみなす。

別紙様式 1 (用紙 日本産業規格 A 4 縦型)

誓約書

当社(私)は、下記 1 から 4 のいずれにも該当せず、将来においても該当しないことを誓約します。  
この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

記

- 1 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成 3 年法律第 77 号。以下「暴力団対策法」という。)第 2 条第 2 号に規定する暴力団
- 2 暴力団員等(暴力団員(暴力団対策法第 2 条第 6 号に規定する暴力団員をいう。)又は暴力団員でなくなった日から 5 年を経過しない者をいう。以下同じ。)
- 3 暴力団員等と密接な関係を有する者
- 4 暴力団員等又は暴力団員等と密接な関係を有する者がその事業活動を支配するもの

静岡県商工会連合会会長  
( (一社) 静岡県商工会議所連合会会長)

氏 名 様

〇〇年〇〇月〇〇日

所 在 地 〇〇市〇〇区〇〇町〇-〇-〇

名 称 〇〇株式会社

代表者職・氏名 代表取締役 静岡太郎 印

押印をお願いします



3 今後の経営の方向性・方針

当社が所在する〇〇市は、少子高齢化や市外への人口流出により見込客が減少しており、外食業界においては大手資本の競合店の参入により競争が激化している。

このような状況に鑑み、これまでの店舗での「待ち」の営業に加えて、ケータリングサービスでの「攻め」の営業を行うことにより、これまでとは違う需要を開拓していく。具体的には、ケータリングに適したメニューの検討を行った上で、企業、町内会、地域の趣味サークルなどの団体へのアプローチのほか、単身世帯が多い地域を中心に個人宅へのポスティング等を実施し、中食需要を取り込む。

ケータリングをきっかけにして地域住民との接点を増やすことで認知度を上げ、これまで以上に地域に密着した経営を行っていく。

4 経営革新計画承認取得を目指す計画

- (1) 経営革新計画承認取得目標年度 年度
- (2) (1)の目標に向けた3年間の計画

年 度	内 容
〇〇年度 (補助事業年度)	(情報収集、分析、検討) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象エリアにおけるケータリングの需要調査(単身世帯、イベント会場等)をする</li> <li>・ 競合他社について店舗数、売上高、メニュー構成等を調査し、自社方針を検討する</li> <li>・ 他社にはないメニューの開発、手薄なエリアへの重点的な販売戦略を立案する</li> </ul> (広報、意見聴取) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページ(HP)、チラシを作成しPRを行う</li> <li>・ HPでは簡単なアンケートや自由書き込み欄を設け、顧客の意見聴取を行う</li> </ul>
△△年度	(改善、改良) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ HPのアンケート、書き込みを参考に顧客のニーズを把握し、新メニュー及びサービスを開発する</li> <li>・ HPをリニューアルし、人気メニューランキングの公表等を随時更新することにより、HP閲覧回数の増加を目指す</li> <li>・ ネット注文に対応することで新たな顧客を取り込む</li> </ul>
□□年度	(経営革新計画の承認) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇(仮)」として、計画承認申請を行う</li> </ul> ※ 顧客の意見を取り入れながら、定期的に新メニューを投入する ※ 食材への拘りを守り、固定客を確保する

様式第3号（用紙 日本産業規格A4縦型）

事業計画書 ~~（変更事業計画書、事業実績書）~~

1 事業のテーマ（30字以内で完結に記入）

ケータリングサービスへの新規参入

2 事業の種類（どちらかに○）

（○）自社がこれまでに行ったことがないもの / （ ）既存のものを大幅に改善するもの

3 事業の目的（どちらかに○）

（○）新たな需要の開拓 / （ ）生産性の向上

4 事業の内容

内容	実施 <del>（予定）</del> 時期
<p>（調査・研究）                      専門家の指導を受けながら、ケータリングサービス参入時の留意事項の確認、市場特性の把握、メニューの検討を行う。</p>	8～11月
<p>（メニューの決定、チラシ作成、ホームページ作成）                      ケータリングメニューを決定し、サービス開始を周知するためチラシとホームページを作成する。</p>	11月～12月
<p>（ケータリングサービス開始）                      企業、町内会、地域の趣味サークルなどの団体のアプローチ、個人宅へのポスティング等によりサービス開始をPRする。ケータリングでの売上げとして、当初○食、○円を見込む。</p>	1月
<p>新しさのポイント（これまでとの違いを具体的に記入）                      これまでの店舗での「待ち」の営業に加えて、ケータリングサービスによる「攻め」の営業もあわせて行うことで、新たな需要を開拓すること。</p>	

## 5 得られる(得られた)効果

ケータリングという新しいサービスと、それを周知するチラシ・ホームページでの広報活動の強化により、新たな顧客層を開拓できる。企業、町内会、地域の趣味サークル等の団体のほか、単身世帯を中心とした個人客への営業活動により、中食需要の獲得を目指す。サービス開始後1年後には、ケータリングでの月間売上げ〇食、〇円を見込み、新規参入時のコストは〇年で回収できる見通し。

また、営業活動強化による地域での認知度の向上は、来店客の増加にもつながることが期待できる。

ケータリングをきっかけにして地域住民との接点を増やし、小規模店舗ならではの地域に密着したきめ細かなサービスの実施により大手との差別化を図りたい。

様式第4号（用紙 日本産業規格A4縦型）

収支予算書（~~変更収支予算書、収支決算書~~）

1 収入の部

区 分	予算額 ( <del>変更予算額</del> ) ( <del>決算額</del> )	( <del>予 算 額</del> )	比 較		備 考
			増	△減	
補助金	423,362円	円	円	円	
自己資金	272,938円				
計	696,300円				

2 支出の部

区 分	予算額 ( <del>変更予算額</del> ) ( <del>決算額</del> )	( <del>予 算 額</del> )	比 較		備 考
			増	△減	
開発費	11,000円	円	円	円	
機械装置等費	198,000円				
広報費	363,000円				
専門家謝金	90,000円				
専門家旅費	3,000円				
雑役務費	22,500円				
資料購入費	8,800円				
計	696,300円				



様式第5号（用紙 日本産業規格A4縦型）

経費配分書（変更経費配分書、支出内訳書）

単位：円

費目	補助事業に要する経費①	補助対象経費② (消費税抜き)	補助金充当額③ (②の2/3を上限)	備考
開発費	11,000	10,000	6,666	試作品材料費
機械装置等費	198,000	180,000	120,000	キャリアー66,000円×3個
広報費	363,000	330,000	220,000	チラシ88,000円 (20円×4,000部+消費税) ホームページ275,000円
展示会等出展費				
旅費				
借料・損料				
専門家謝金	90,000	81,818	54,545	30,000円×3回
専門家旅費	3,000	2,727	1,818	1,000円×3回
雑務費	22,500	22,500	15,000	ポスティングアルバイト1人 時給900円×5時間×5日
資料購入費	8,800	8,000	5,333	2種類の本を1冊ずつ
産業財産権等の導入経費				
通訳料・翻訳料				
委託費				
外注費				
計	696,300	635,045	423,362	

## 実績報告書記載例

P 37～ P 42

実績報告書

〇年〇月〇日

静岡県商工会連合会会長 氏 名 様  
（（一社）静岡県商工会議所連合会会長）

所在地 〇〇市〇〇区〇〇町〇-〇-〇  
名 称 〇〇株式会社  
代表者職・氏名 代表取締役 静岡太郎

押印不要です

↓採択時に静岡県商工会連合会（商工会議所連合会）から送付された通知の番号を転記

令和〇年〇月〇日付け第〇号により補助金の交付の決定を受けた小規模企業経営力向上事業が完了したので、関係書類を添えて報告します。

1 補助金交付決定額 423,362円

←静岡県商工会連合会（商工会議所連合会）から交付決定を受けた当初の予定額

2 補助金額 401,021円

（補助金所要額）

（収益納付額）

（補助金額）

401,021円 -

0円 =

401,021円

3 補助事業完了日 〇年〇月〇日

（注）収益納付額がある場合は、収益納付に係る報告書（別紙様式2）を添付すること。

法人その他の団体にあつては、以下の項目についても記載すること。

責任者 職・氏名

取締役 静岡次郎

代表者と同一も可

作成者 職・氏名

主任 静岡三郎

補助事業による収益があり、以下の算定により収益納付額がある場合にのみ添付すること

別紙様式 2 (用紙 日本産業規格 A 4 縦型)

収益納付に係る報告書

1 収益納付の要因

区 分	該当するものに○
補助事業の成果の事業化	○
産業財産権等の譲渡又は実施権の設定	
その他補助事業の実施により発生した利益	

2 収益納付額の算定

単位：円

区 分	金 額
補助事業に要した経費 (A)	659,687
補助金所要額 (B)	401,021
控除額 (C) (A - B)	258,666
収益額 (D)	30,000
納付額 (E) (D - C) × (B / A)	0

このケースでは納付額 0 円のため  
当様式の添付不要

(注)

- 1 控除額 (C) とは、補助事業に要した経費のうち自己負担額をいう。
- 2 収益額 (D) とは、補助事業の完了によって生じた総収入額から総収入を得るために要した額 (製造原価、販売管理費等) を控除した額をいう。
- 3 収益額 (D) > 控除額 (C) の場合のみ、収益納付が必要となる。

様式第3号（用紙 日本産業規格A4縦型）

事業実績書

1 事業のテーマ（30字以内で完結に記入）

ケータリングサービスへの新規参入

2 事業の種類（どちらかに○）

（ ○ ）自社がこれまでに行ったことがないもの / （      ）既存のものを大幅に改善するもの

3 事業の目的（どちらかに○）

（ ○ ）新たな需要の開拓 / （      ）生産性の向上

4 事業の内容

内容	実施時期
<p>（調査・研究）</p> <p>専門家の指導を受けながら、ケータリングサービス参入時の留意事項の確認、市場特性の把握、メニューの検討を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">                     専門家活用の場合、打ち合わせの記録を添付（指導内容など）                 </div>	<p>1回目：8月○日</p> <p>2回目：9月○日</p> <p>3回目：10月○日</p>
<p>（メニューの決定、チラシ作成、ホームページ作成）</p> <p>専門家の指導を受け、ケータリングメニューを決定した。併せて創作メニュー○種を開発。サービス開始を周知するためチラシとホームページを作成したほか、SNSでの発信を実施した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">                     HP画面、チラシなど成果物を添付                 </div> <p>チラシ：4,000部印刷</p>	<p>11月～12月</p>
<p>（ケータリングサービス開始）</p> <p>企業、町内会、地域の趣味サークルなどの団体のアプローチ、個人宅へのポスティング等によりサービス開始をPRした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ チラシ3,500枚を近隣地域へポスティング実施、500枚を店頭配布など</li> </ul>	<p>1月</p>
<p>新しさのポイント（これまでとの違いを具体的に記入）</p> <p>これまでの店舗での「待ち」の営業に加えて、ケータリングサービスによる「攻め」の営業もあわせて行うことで、新たな需要を開拓したほか、専門家の指導により、静岡県産素材を活用した創作メニューを開発し、他店との差別化を図ることができた。</p>	

## 5 得られた効果

ケータリングという新しいサービスと、それを周知するチラシ・ホームページでの広報活動の強化により、新たな顧客層を開拓した。また、当初計画に加え、SNSでの発信も行い、多チャンネルでの発信を行っている。企業、町内会、地域の趣味サークル等の団体のほか、単身世帯を中心とした個人客への営業活動により、今後新規顧客(中食需要など)の獲得が見込める。サービス開始後1年後には、ケータリングでの月間売上げ〇食、〇円を見込み、新規参入時のコストは〇年で回収できる見通し。店頭販売含め複数の販売方式により原材料を効率よく消化し、利益率を向上させていく。

また、ケータリングをきっかけにして地域住民との接点を増やし、小規模店舗ならではの地域に密着したきめ細かなサービスの実施により大手との差別化を図るほか、専門家の指導及び従業員提案等により静岡県産素材を活用した健康志向の創作メニューの開発等に継続して取り組み、商品ラインナップでも差別化を図っていく。

収支決算書

1 収入の部

区 分	決 算 額	予 算 額	比 較		備 考
			増	△減	
補助金	401,021円	423,362円		△22,341円	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">                     予算額には交付申請時に記載した当初計画額を記載、決算額には事業を終えての実績額を記載                 </div>					
自己資金	258,666円	272,938円		△14,272円	
計	659,687円	696,300円		△36,613円	

2 支出の部

区 分	決 算 額	予 算 額	比 較		備 考
			増	△減	
開発費	13,420円	11,000円	2,420円		
機械装置等費	198,000円	198,000円			
広報費	316,067円	363,000円		△46,933円	
専門家謝金	99,000円	90,000円	9,000円		
専門家旅費	4,400円	3,000円	1,400円		
雑役務費	20,000円	22,500円		△2,500円	
資料購入費	8,800円	8,800円			
計	659,687円	696,300円	12,820円	△49,433円	

決算額・予算額の合計額はそれぞれ上段の「収入の部」の合計額と一致させること

様式第5号（用紙 日本産業規格A4縦型）

支出内訳書

単位：円

費目	補助事業に要する経費①	補助対象経費② (消費税抜き)	補助金充当額③ (②の2/3を上限)	備考
開発費	13,420	12,200	8,133	試作品材料費
機械装置等費	198,000	180,000	120,000	キャリアー66,000円×3個
広報費	316,067	287,334	191,556	チラシ88,000円 (20円×4,000部+税) ホームページ228,067円
展示会等出展費				
旅費				
借料・損料				
専門家謝金	99,000	90,000	60,000	33,000円×3回
専門家旅費	4,400	4,000	2,666	2,200円×2回 3回目はweb会議形式
雑役務費	20,000	20,000	13,333	ポスティングアルバイト1人 時給800円×5時間×5日
資料購入費	8,800	8,000	5,333	2種類の本を1冊ずつ
産業財産権等の導入経費				
通訳料・翻訳料				
委託費				
外注費				
計	659,687	601,534	401,021	

支出した証拠となる書類（見積書、発注書（契約書）、納品書、請求書、領収書など）の  
コピーを、対象の支出毎に順に揃えて添付してください。